

細霧冷房ファインミストが いちごの収量と品質を高める理由

夏の育苗期の**高温・乾燥対策**が、成功のカギを握る！



気化熱でハウス内をクールダウン！

育苗期が、いちごの出来を左右します

夏の育苗管理を適正に行うことでより良い栽培期を迎えましょう。暑い夏に育苗生産などにお困りの栽培者が少なくありません。近年夏の育苗期の高温、乾燥の過酷な環境が続いています。異常な暑さに対し細霧冷房を利用した栽培を行うことで育苗期の苗へのダメージが軽減されるようになります。元気な苗を育てることでいちごの栽培や収穫をより良い結果をもたらせるよう、夏の苗作りの環境改善を行いましょう。

夏の育苗期に起きている課題



ハウス内温度
の上昇



葉温の上昇



空気の乾燥

→ その結果、いちごは身をまもるために気孔を閉じ、光合成を抑えてしまいます。

高温・乾燥がいちごに与える影響



光合成量の
低下



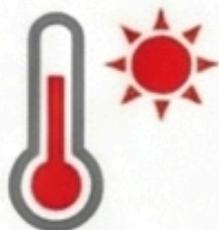
花芽分化の
遅れや不安定化



株の体力低下

→ これにより、初期着果がそろわない、花落ちや果実肥大不良など、収量や品質に悪影響が！

高温・乾燥がいちごに与える影響



ハウス内温度の
上昇



葉温の
上昇



花芽分化の
遅れや不安定化

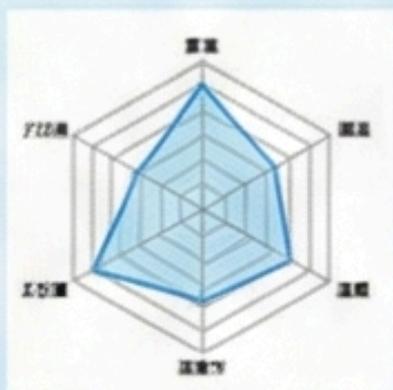


株の
体力低下



→ これにより、初期着果が揃わない、
花落ちや果実肥大不良など、収量や品質に悪影響が！

細霧冷房ファインミストによる対策



- 葉温を下げる
- 湿度を適正な範囲に保つ
- 急激な温度上昇や温度ムラを抑える

→ この環境制御により、育苗期のストレスを軽減！

植物生理への効果 ～いちごが本来の力を発揮～



ファインミストで
温度と湿度が整う



気孔が開き
やすくなる



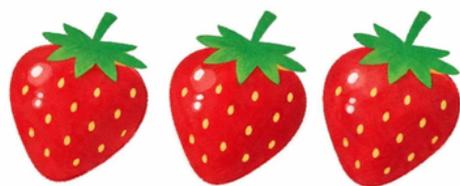
光合成が
安定して続く



株の生育が
安定する

育苗期から健全な株づくりが可能になります。

結果として得られる農家のメリット



初期生育の安定

花芽分化が安定し、
初期着果が揃いやすくなる



計画出荷の実現

クリスマス時期の出荷を
計画的に狙いやすくなる



収量の向上

有効花数が増え、
結果として収量が向上する



品質・糖度アップ

光合成量の増加により、
糖の蓄積が安定し、
高糖度のいちごが育ちやすくなる

まとめ

細霧冷房ファインミストは、育苗期の高温・乾燥ストレスを抑え、光合成と花芽分化を安定させる設備です。

その結果、

「早く・多く・甘い」いちごづくりにつながります。

細霧冷房ファインミスト 製品仕様と効果データ

循環扇取り付けタイプ



配管取り付けタイプ



循環扇取り付けタイプのデータ 仕様データ:羽径25cm、電圧100V、周波数50Hz、出力32W

測定地点(距離)	温度変化(冷却効果)	湿度変化(加湿効果)
A地点(4.5m)	34°C → 26°C (-8°C!)	45% → 70%
B地点(6.0m)	34°C → 28°C (-6°C!)	45% → 60%
C地点(9.0m)	34°C → 30°C (-4°C!)	45% → 55%

有限会社 メーコー精機

〒331-0047 さいたま市西区指扇567-3

☎048-624-5403